

新卒入社1年目の藤井拓也に、closetに入社してみてどうだったか、などインタビュー！



—藤井くんclosetへようこそ。まずは何故、新卒入社でclosetを選んでくれたの？

藤井：ハイ。本音を言うとclosetは第2志望でした。第1志望は表参道の某有名サロン。でも第2志望にしていた理由は自分が通っていた専門学校にclosetの方が就活ガイダンスに来てくれていて、そこで話を聞いたりサロンの感じを動画で見て、自然体で雰囲気の良いさうなサロンだな〜と思って気になっていました。あとその時は仲良しの先輩が先にclosetで働いていたのでそれもキッカケでした。（もう辞めてしまいましたが…）ナチュラルな雰囲気なサロンに入りたかったので。その部分での印象は第1志望のサロンでも同じでした。床

が大理石のサロンとかは自分とは違うかな〜と笑。そんなざっくりな理由です。でも第1志望の有名サロンの最終試験で体験入店した時、自分が思っていたナチュラルな雰囲気とは違ってスタッフ同士のギスギス感があり、なんか違うかも？と思ってるのと同時に試験も落ちました笑。

—その後でclosetに？

藤井：そうです。第1志望に落ちて途方に暮れていたところ、closetでも1日体験させてもらう機会をもらって。実際1日一緒に過ごしてみたら、closetはナチュラルな雰囲気もイメージ通りだったし、スタッフ同士もみんな自然体で、思っていたのとギャップが無く、その時このサロンで働きたい！と思いました。



—実際働いてみてどう？

藤井：入る前とのイメージのギャップは無かったです。朝が早かったり、夜も練習で遅くなったりとかはあって大変だな、というのはありますが、でも入った以上は、社会人として責任感を持って働く！と思ってやります。

—では、社会人になってみてどう？

藤井：就職が決まった時点で、「バイト感覚は捨てなきゃな」とかは意識して働き始めました。

—確かに。バイトの時給と比べたらアシスタント1年目のお給料は割に合わないかもね・・・。

藤井：はい。だからお金ではないとゆーか。バイトは責任感なく働けますけど、サロンに就職して社会人という立場上、自分の持てる責任感を持つとう！と就職前に切り替えました。

—すごい意気込みだね。そんなにちゃんと考えてくれたんだね、ありがとう笑。確かにその切り替えは必要だね。

藤井：はい。実際周りの先輩とか美容師がキツくて辞めてバイト生活に戻ってしまってる人もいるけど、それは嫌なんですよね。

—素晴らしい。

藤井：働き始めた今、同じ仕事をずっと続けている人、全員を尊敬してます笑。とくに美容師はキツイ仕事だし、その美容師を続けている人、とくにclosetオーナーの田中さんは美容師歴20年以上ですし、マジで尊敬してます！

—そんな尊敬できるオーナーの元で益々頑張ってるね！！

藤井：はい！